

さくらサイエンスプラン ホームステイと国際交流の報告

さくらサイエンスプランによって、12月20日～23日の4日間、台湾の台北市立大同高級中学と国立南投高級中学の高校生14名を迎えて国際交流活動を行いました。今回の活動は、ホームステイ(3泊4日)、本校で英語による物理の授業、ポスター発表会、歓迎会、一高版科学の甲子園、被災地訪問を行いました。今回のSRtimesの内容は参加生徒の感想です。英文もありますがぜひ読んでみてください。

○物理英語

- ・普段受けられない授業だったので刺激的だった。専門的な英語の知識が必要だと感じた。(粥川颯人)
- ・いつもとは違う雰囲気でかなり新鮮な授業だった。(佐藤遼風)
- ・It's exactly a new for me to learn physics. (PAN,JINKAI)
- ・It was very interesting because we didn't learn much about Universe and I've heard of gravitational waves before.(CHUEH,YUTING)
- ・This was the first time I have joined in a physics class without Chinese. Both professors are cute and funny. (CHIANG,CHANGHAN)



○ポスター発表会

- ・留学生の発表を聞くことで、私のスピーチ力や英語力はまだまだ足りないことが分かった。(小島空智)
- ・留学生の私たちとは異なった観点を自分の学術研究に生かしたいと思った。(渡辺咲季)
- ・I'm satisfied with our presentation, but still a lot to improve in answering questions.(CHEN,YUHAO)
- ・I was very nervous in the process for the first time I tried this poster session.(SU,YI-ZHEN)
- ・It's a very special experience because in Taiwan we seldom have chance to inform lots at people.(LIN,HAN-TING)



○交流会 歓迎会

- ・学校紹介を通し、台湾での様子を知り、またゲームで盛り上げて楽しい時間を過ごせた。(大浦萌花)
- ・台湾の学生の皆さんについての理解が深まり、楽しみながら交流することができた。(佐久間泰晟)
- ・The introduction of the school was brilliant. And the game was very interesting. (CHEN,YEN-CHIH)
- ・Through the meeting, we learned the difference between high schools in Taiwan, and even in Japan.(SHIN,MEI-CHUN)



○一高版科学の甲子園

- ・自分の考えを伝えるのにジェスチャーなどを交え、みんなで考えをひとつにして課題に取り組むことができた。(近藤龍平)
- ・英語での意思疎通は大変だったがいい経験になった。(田中秀典)
- ・ The task of the competition is not difficult, but how to get a higher place is the real challenge, teamwork and discussion are all required.(CHEN,SHAOKAI)
- ・ In the end, we get NO.9. But I am very happy, I made two good friends during the class,陽太 and 怜央. They are all good guys. (CHANG,CHIN-JOU)
- ・ It was a difficult task, but I had fun in the process of making the thermal paper box.(HSIEH,MING=YEN)



○津波被害に関するレクチャー

- ・すべて英語での討論は自分の伝えたいことを明確にして、いかに自分の知っている言葉だけで説明しきれるかが問われるハイレベルなものだった。(虻川亮政)
- ・レクチャーも話し合いも英語で行われたので大変だったが、とても貴重な良い経験となった(菊田美空)

○被災地訪問

- ・震災から6年以上経ち、改めて被害の大きさを実感した。同じ被害が起こらないように後世に伝えていくことが重要なのだと思った。(金山華)
- ・消えた町。戻らない町。それでも千羽鶴と青空は輝いていた。(吉開萌々)



○ホームステイの様子

- ・たくさん話すうちにお互いの生活や流行、文化が垣間見えた気がした。笑いあえるのは世界共通だと思った。(仲川由津)
- ・バディの通訳のほか、覚えた日本語やジェスチャーで母や祖母とも楽しく交流していた。(遠藤佐奈)
- ・ My home buddy, his English is very good, always able to understand what I say, let me get the best care.(CHEN,GUAN-WEI)
- ・ In these three days might I had a terrific memories in my life. Although my buddy was too shy to talk to me, I'm thankful to my buddy and his parents gave me such a good chance staying in host family. I will never forget it. (CHIANG,CHANGHAN)

最後に

今回のホームステイで私たちは台湾の留学生の人たちと一緒に多くの経験をして、交流を深めてきました。このSRtimesはそんなホームステイで私たちが経験したことや感じたことを伝えるために制作しました。この経験はきっと私たちにとって価値のあるものだったと思います。是非皆さんも外国の人たちを怖がらずに話してみたり、交流してみたりしてください。最後にこの経験を将来に生かしていきたいと思うと同時に、このような機会を与えてくださった方々に感謝し、編集後記とさせていただきます。

